

# 摂南大学

摂南  
土木会

# 土木会会報

## No.31

平成 22 年 12 月 1 日

発行所 摂南大学土木会  
〒572-8508 寝屋川市池田中町 17-8  
摂南大学都市環境工学教室内  
TEL.072-839-9117  
FAX.072-838-6599

### 会長挨拶

## 「会長就任後、一年を迎えて」

## CONTENTS

### ■ 会長挨拶

「会長就任後、一年を迎えて」

会長 藤田 孝志 (摂大昭和55年卒)

### ■ 摂土会総会報告 平成21年度総会

### ■ 学科長挨拶

新しい都市環境工学科がスタートしました

都市環境工学科 教授 熊野 知司

### ■ 研究室だより

地域環境計画研究室「教授昇任祝賀会のご報告」

工学研究科社会開発工学専攻 水嶋 翔吾 (摂大平成21年卒)

### ■ 平城先生追悼文

都市環境工学科 教授 頭井 洋

### ■ 合同同窓会報告

平城先生を偲ぶ会報告

石橋 源三 (摂大昭和55年卒)

### ■ 2010年度の就職状況

—氷河期を迎え—

都市環境工学科 教授 道廣 一利

### ■ 在学生特集

テーマ「今、大切にしているもの」

### ■ 卒業生特集

求められる技術と人材





# 会長就任後、一年を迎えて

会長 藤田 孝志 (撰大昭和55年卒)

京都府八幡市役所



土木会会員の皆様にはご健勝で、各方面で活躍のこととお喜び申し上げます。

11月14日(土)に学校法人常翔学園大阪センターにて、関係各位のご支援とご協力により、平成21年度の特別講演・総会懇親会等を無事開催することができました。改めてこの紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

さて、私は会長就任以来、土木会活動の活性化を進めるためには土木会への若い会員の参加が重要であると考へ、土木会の運営についても若い方の参加を考慮し、副会長を始め役員等に年齢の若い方に就任をいただきました。また、土木会の運営についてもボランティアである

以上、ご尽力をいただいている先生方や役員の皆様に出来るだけ、ご負担をお掛けすることの無いようにと考え、円滑に後輩の皆様を引き継いでいただけるように検討してまいりました。今後も土木会の活動の活性化を進めると共に土木会の円滑な運営推進のために精一杯の努力をしてまいりたいと思っております。会員各位のご指導ご鞭撻を願ひ申し上げます。

最後に、私にとって非常に悲しい出来事がありました。土木会の相談役で私の恩師であります平城弘一先生が平成22年2月28日の未明にご逝去されました。先生とは、先生の研究室のゼミ生でありました私と卒業後もご縁があり30年以上のお付き合いをさせていただいておりました。亡くなられる2週間前に先生と電話でお話をさせていただきました。3月にはお会いできると思っておりましたが急遽ご逝去されました。

平城先生は土木会の発展に長い間、寄与され、私にとつて大きな存在でありました。突然のことで未だに先生が亡くなった事が信じられません。ご冥福をお祈りいたします。(合掌)



## 学科長挨拶

# 新しい都市環境工学科がスタートしました

都市環境工学科 教授 熊野 知司

土木会会員の皆様には、平素より何かと本学科の運営にご支援を賜り、感謝申し上げます。本年度から学科長の職を仰せつかりました。何卒、宜しくお願ひいたします。

本学科は、2010年度入学生から理工学部都市環境工学科へと改組され、新たなスタートを切りました。2002年度に土木工学科から都市環境システム工学科へと名称変更しましたが、全学的な大学改革に合わせて、

土木会会員の皆様には、平素より何かと本学科の運営にご支援を賜り、感謝申し上げます。本年度から学科長の職を仰せつかりました。何卒、宜しくお願ひいたします。

より学科の特色をわかり易くするために再度、名称変更を行ったものです。改組に合わせて学科の学習・教育目標のマイナーチェンジを行い、科目の統合を進めるとともに、これまでの教育改善の結果、複雑化していた履修方法を「科目群」を導入することでわかりやすく整理いたしました。詳細については、学科のホームページ(URL: <http://www.setsunan.ac.jp/civ/index.htm>)をご覧ください。

## 【撰南大学土木会】平成21年度 決算書・平成22年度 予算書

平成21年度決算は表1のとおりであり、監査を経て、平成22年7月の役員会で収支とも相違ないことが認められた。  
また、平成22年度予算は表2に示すとおりである。

表1 平成21年度決算

収入の部			
科目	予算	決算	
前年度繰越金	691,779	691,779	
正会員入会金 83名	435,000	415,000	
準会員費76名	385,000	380,000	
広告料	310,000	278,440	
預金利息	5,000	1,971	
名簿売上	3,000	0	
雑収入	0	329,880	
合計金額	1,829,779	2,097,070	

支出の部			
科目	予算	決算	
事務費等	170,000	69,925	
総会費	350,000	441,532	
名簿追加修正費	50,000	25,000	
会報発行費	800,000	815,392	
同窓会補助	50,000	20,000	
役員会・評議員会費	100,000	65,430	
特別講演会	200,000	105,775	
慶弔費・見舞金	100,000	97,441	
雑費	1,500	122,340	
予備費	8,279	0	
次年度繰越金	0	334,235	
合計金額	1,829,779	2,097,070	

平成22年3月31日現在 特別積立金440万円

表2 平成22年度予算(案)

収入の部	
科目	予算
前年度繰越金	334,235
正会員入会金 83名	415,000
広告料	330,000
預金利息	2,000
名簿売上	3,000
合計金額	1,054,235

支出の部	
科目	予算
事務費等	25,000
名簿追加修正費	25,000
会報発行費	800,000
同窓会補助	30,000
役員会・評議員会費	30,000
特別講演会	70,000
慶弔費・見舞金	70,000
雑費	1,000
予備費	3,235
合計金額	1,054,235

平成22年4月1日現在 特別積立金440万円

## 撰土会総会報告 平成21年度総会

「また、2年後に会いましょう。」を合い言葉に懇親会が閉会しました。  
「平成21年度撰南大学土木会総会」が去る平成21年11月14日(土)に常翔学園大阪センターにて開催されました。総会に先立ち、準会員および正会員対象の特別講演会が実施されました。  
総会では西川朝彦氏(高専昭和48年卒)の司会進行により、議長団選出の後、各審議がなされ、原案通り承認されました。  
学校開催から学外での初めての懇親会は、撰南大学土木会会長藤田孝志氏(撰大昭和55年卒)の挨拶ではじまり、撰南大学学長今井光規先生や各同窓会の来賓の皆様方のご参加のもと、多くの土木会正会員が梅田に集まり、楽しいひと時を過ごしましたことを報告いたします。例年に増して、最近卒業した正会員の参加が目立ち、卒業ゼミでの思い出や近況報告等の話題で大いに盛り上がり、終始笑顔の和やかな懇親会となりました。  
「ヨ一オ」の合図で、一本締め。井上治先生(名譽顧問)の高々なる発声で懇親会が閉会しました。

代表幹事 岡 武久(撰大昭和60年卒)



乾杯の音頭 (前会長 森 俊介氏撰大昭和55年卒)



懇親会

**総会**  
議長：荒瀬美富夫氏(高専昭和44年卒)  
副議長：岩崎 央氏(撰大昭和61年卒)  
議題  
①平成20年度事業報告  
②平成20年度会計報告及び監査報告  
③平成21年度事業計画案  
④平成21年度予算案  
⑤その他

**特別講演会(正会員対象)**  
講師：豊田 隆介先生  
(NPO法人気候ネットワーク主任研究員)  
演題  
「温暖化防止のルールを作ろうー低炭素社会に向けてー」

**特別講演会(準会員対象)**  
平成21年10月24日(土)  
撰南大学12号館3階 1231教室  
講師：澤田 和美先生(ベネッセ認定インストラクター)  
演題  
「キャリアデザインー職業に対する将来への目的意識ー」

撰南大学土木会のホームページをご覧ください



# 研究室だより



## 地域環境計画研究室「教授昇任祝賀会のご報告」

工学研究科社会開発工学専攻 **水嶋 翔吾**  
(摂大平成21年卒)

当研究室は、1999年に熊谷樹一郎先生が着任されてから開設された研究室です。主に、地理空間情報の処理・解析を通じて、都市の計画と運用に関わる分析手法の開発を進めてきています。したがって、コンピュータの前に座る機会が多い研究室ではありますが、まちづくり活動への参加・協力や、資格試験への挑戦、ソフトボール大会・フットサル大会への参加、旅行などのゼミイベントの企画・実行など、外部・内部でのさまざまな活動を楽しんでいます。これまでの研究内容や活動実績については、最新情報を含めて<http://www.setsunan.ac.jp/civ/kumagai/>に掲載されていますので、ご覧いただけたらと存じます。

さて、平成22年9月18日、大阪の「PLAYS NICE」にて、熊谷先生の教授昇任祝賀会が開催されました。祝賀会には、1期生から12期生までの卒業生・ゼミ生を中心に、総勢40名程が集結しました。なかには、都内や島根、広島から出席された卒業生もおられ、旧交を温めておられました。

祝賀会では、卒業生から先生への挨拶や記念品の贈呈など多くのイベントが行われました。今回は、先生が今年になって生まれて初めて携帯電話を所有されたこともあり、教授昇任を記念した携帯ストラップをゼミ生がデザインし、参加者へ配布しました(写真1)。また、先生をモデルにしたフィギュア(写真2)の贈呈や摂南大学の近況報告などが執り行なわれました。特に、フィギュアの完成度の高さには皆が驚き、フィギュアのほうが若い(髪の毛が多い?)といった声も上がり、大盛り上がりとなりました。紙面の都合上、すべてを記すことはできませんが、参加者は学生時代のさまざまな記憶をたどり、思い出話を花を咲かせていたようです。熊谷先生を皆でお祝いする場であるとともに、卒業生たちの世代の垣根を越えた交流の場ともなったようで、充実した祝賀会となりました。

このような祝賀会を無事に開催することができたのも、お忙しい中、ご尽力をいただいた多くの先輩方のおかげです。次の機会もこのように熊谷ゼミ生が集まり、先生、先輩方、同輩、後輩達と交流できたらと思っています。



(写真1) 昇任記念の携帯ストラップ (写真2) 熊谷先生フィギュア



教授昇任祝賀会の参加者

①のJABEEに関しては、学科のJABEE責任者である伊藤教授のもと、教育改善計画委員会(委員長:熊谷教授)と教育システム評価委員会(委員長:頭井教授)の2つの委員会が活動し、先述のエンジニアリング教育の充実に向けて改善サイクルを回しています。なお、熊谷樹一郎先生は、2010年4月より、教授に就任されました。

②の広報活動に関しては、学生・募集WG(リーダー:澤井教授)が学科パンフレットの改訂、模擬講義の計画、オープンキャンパス、摂大祭、建設技術展近畿等の学科ブースの出演などに取り組んでいます。③の資格取得に関しては、資格取得WG(リーダー:瀬良准教授)が、技術士1次試験、2級土木・建築施工管理技士、土木学会2級技術者等の受験の事務的サポートに加えて、自主勉強会の企画・立上げを行っています。さらに、道廣教授および瀬良准教授が就職委員として就職活動のサポートを行っています。学科では、昨年度に悲しい出来事がありました。2009年7月1日に矢村潔教授(享年65歳)、2010年2月28日に平城弘一教授(享年63歳)と本学科の大黒柱であった先生方が相次いで逝去されました。矢村教授は、全学の就職委員長を務められた他、学科内委員会である教育システム評価委員会

の初代委員長としてJABEE認定に大きく貢献していただきました。平城教授は皆様もご存知のように摂南大学土木会の設立、運営に尽力されその発展に大きく寄与されました。また、近年は学科の資格取得WGのリーダーとして技術士1次試験等の受験サポートにご尽力いただいております。これらは先生方の業績のほんの一端にすぎず、大学教育や学会活動も含めて社会に貢献されたことを並べただけで枚挙にいとまがなくなります。この時期にご逝去されたことは学科にとって計り知れない影響があると考えています。お二人の教育スピリッツは遺された教員スタッフが必ずや引継いでいきたいと思っています。(合掌)

現在、摂南大学履屋川キャンパスでは正門から入って左手に新1号館の建築工事が急ピッチで進められています。予定どおりに進みますと2011年3月に完成し、C科準備室や教員の居室も含めて本学科の主要施設は、新1号の3階・4階に移転することになります。懐かしい大学の移り変わる様子を一度見に来てください。今後とも、土木会の皆様の一層のご支援をお願いいたします。

### ■事務スタッフ紹介

黒崎 美穂子さん

はじめまして、10月から都市環境工学科の事務スタッフになりました黒崎美穂子です。

摂南大学では図書館3年電気電子工学科2年半お世話になりました。

図書館では本の楽しさを知り、電気電子工学科では次世代ロボット・太陽光発電など、ここ数年に渡りめまぐるしく変化する技術に興味を持ちました。今度は、都市環境工学科という新しい世界。どんな世界が待っているのか今からワクワクしています。

現在の職場に来て1週間、戸惑うことが多い中、先生方、事務室の方々に親切に教えて頂き、少しずつですが慣れてきました。

これからは、先生方、学生の皆さんをサポートできるように頑張りますのでよろしくお願致します。



### 「都市環境システム工学科 建築士プログラム」認定条件※1

入学年度	対象者	建築士プログラム認定条件(卒業後2年間の実務経験の後)
2002	都市環境システム工学科 卒業生	平成20年度開講の「建築製図」又は平成21年度から開講の「建築設計製図I」を科目履修生として単位取得する※2。
2003		平成20年度開講の「建築製図」を単位取得して卒業する。または、卒業後※2に「建築設計製図I」(平成21年度から開講)を科目履修して合格する。
2004		
2005		
2006		
2007	現4年	平成21年度から開講の「建築設計製図I」を単位取得して卒業する。
2008	現3年	または、卒業後※2に「建築設計製図I」を科目履修して合格する。

※1:入学後の学生が、4年間で卒業した場合の「建築士プログラム」認定の条件です。卒業後に、建築に関して2年以上の実務経験を経て一級建築士試験の受験資格がえられます。  
※2:卒業後に対象科目の単位修得を行った場合、実務経験の起算日は対象科目の単位取得時となります。

・科目等履修の申請は、毎年3月までに理工学部事務局(TEL072-839-9117)をお願いします。



## 平城先生追悼文

都市環境工学科 教授 頭井 洋

平城弘一先生は、前身である高等専門学校を経て土木工学科の草創期より、三十数年の長きに亘り本学科教員を務められた。その間、専門分野では、一貫して鋼とコンクリートの複合構造、特に鋼桁とコンクリート床版の代表的接合法であるスタッドジベルに関する実験研究に精進され、この分野では日本を代表する研究者の一人でした。関連企業との共同研究にも意欲的に取り組まれ、多くの研究業績を残された。教育や学生指導にも強い精神力で熱心に臨まれ、卒研生とは毎年ゼミ旅行をされるなど人情に厚くゼミ生の信望も大きかった。本学科前身である高等専門学校卒業後、大阪工大の土木工学科を卒業された本学園のOBでもあり、学科卒業生の親睦団体である「摂南大学土木会（摂土会）」の中心メンバーとして常任委員、副会長、会長を歴任され、会の発展に多大な貢献をされた。また、摂土会を母体とした摂南大学技術士会設立の中

心メンバーとして、摂南大学卒業生の技術士及び技術士補の交流・親睦にも尽力され、在学生の技術士補受験指導のための勉強会運営や、講演会、講習会などの開催にも多大な寄与をされた。十年ほど前に体調を崩されてからは、それまでの猛烈な仕事ぶりを自重され、以前ほど遅くまで大学におられることは少なくなっていた。2010年2月末に逝去される数か月前までお元気でした。2009年度は就職担当として、4年生、修士2年の就職にも尽力された。逝去される直前の1月以降は体調を崩されたにもかかわらず、1月末まで、卒研指導・院生の指導、就職担当としての業務に誠心誠意取り組まれていた。2月当初、入院治療されていた病院より、お願いしていた修士の副査を引き受けられなくなったと告げられた電話が平城先生との最後の会話になった。旅立たれる直前まで、最後・研究に全力投球された平城先生の早すぎる逝去を悼み、ご冥福をお祈りします。

## 合同同窓会・平城先生を偲ぶ会報告

石橋 源三(摂大昭和55年卒)

平成22年7月11日にヒルトンプラザウエストの「桃谷楼」にて、合同同窓会と平城先生を偲ぶ会を開催しました。

当初、土木工学科の2期生(昭和55年卒)が卒業後30年を迎えるにあたり30年の節目として記念同窓会を開催すべく準備を進めておりましたが、去る2月末日に平城先生がご逝去され急遽、三期(昭和54年から56年卒)合同の同窓会と平城先生を偲ぶ会を開催することとなりました。

当日は、皆さんのお声掛けにより三期の卒業生だけでなく四期生と八期・十三期生の卒業生も参加をいただき総勢47名の出席となりました。また、恩師の先生方にも出席をいただき鎌田先生、上田先生、藤倉先生、井上先生、道廣先生のご出席をいただきました。

会は、昭和55年卒の山口氏の司会で、土木会

会長の藤田氏からのご挨拶と平城先生ご逝去に関する報告をいただきました。引き続き亡くなられた先生方と卒業生を偲び黙祷を捧げ昭和54年卒の平尾氏による乾杯の音頭が始まりました。先生方からもご挨拶をいただき、卒業後の月日の重さを感じると共に先生方や同級生等と思い出深い一時を過ごすことができました。

最後に、今回の合同同窓会・平城先生を偲ぶ会開催に当たり、摂南大学土木会から、ご支援をいただきましたことについて、この場をお借りしてお礼を申し上げます。



2期生と恩師の方々

## 2010年度の就職状況 —水河期を迎え—

都市環境工学科 教授 道廣 一利

既にマスメディアなどで報道されているように、就職戦線は超がつくほど「買い手市場」の水河期となつています。その主たる要因の一つとして、米国およびユーロ圏経済の不透明さに起因し、その代償として強くない「円」が異常なくらい高くなり、多くの製造業は人件費の安い中国をはじめとする東南アジアに進出し、国内では空洞化現象が生じています。

さて、本年度の就職状況ですが、本学における求人業種別にみると(2010年7月現在)、建設業では求人社数は前年度比▲18.5%、求人数▲32.2%と大きく落ち込んでいます(昨年同時期285件に対して、本年度は211件の▲25%)。これは現政府の「コンクリートから人へ」の政策により公共事業費3%の削減が大きく影響していると考えられます。また全体を見てみると求人社数▲26.2%、求人数▲31.1%となっており、他の学部・学科においても厳しい就職戦線であることには違いありません。このような状況下で、本年度は瀬良准教授と道廣が進路指導の取りまとめを行っています。実際にはゼミ担当者との緊密なコンタクトを取りながら教員が一丸となり学生の進路指導を行っているのが現状です。

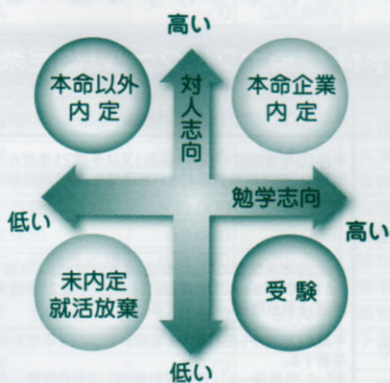
本年度の卒業・修了予定者は(卒業71名、修了5名)76名です。進路内定状況は(9月12日現在)学部生50名(70%)、院生4名(80%)であり、全体では76名中54名の71%となっています。昨年度の同時期と比較すると▲4ポイントですが、他学部・他学科の落ち込みと比較すると遙かに良い数字となつています。このことは、C科が開学以来取り組んでいる「企業訪問」による努力の賜であると思われる。進路内定者の内訳は、大学院進学(3名)、公務員(3名)、研究生(2名)、一般建設業28名、道路・鉄道(8名)、コンサルタンツ(4名)、測量系(2名)、造園(1名)および他業種(3名)です。

内定状況をここ2、3年と比較してみると、建築(ハウスメーカー等)や不動産関係の内定者は10%前後占めていたものが、本年度では、今のところ2名であり大きく減少しているといった特徴が見受けられます。

内定先未定者数22名は全員活動中であり、その内訳は大学院受験予定(3名)、公務員受験および結果待ち(5名)、一般土木(7名)、道路・鉄道(2名)、建築系(3名)、他業界(2名)となつています。

就職担当をしていて気づいた点をあげますと、多くの学生は危機感をもつて就職活動に取り組んでいるのですが、消極的な学生も一部です。この事実で、ここ5、6年の傾向が強くなつてきているように感じられます。面白いデータがありましたので紹介させていただきます(京都大学と電気育英会の調査をもとにしたもの)、2009年7月20日付けの日本経済新聞に掲載されたものです。それによると就職に有利な学生とは、対人志向が高く、勉学志向の高い学生が本命と目指している先に内定できているとの報告があります(図参照)。今後就職指導をする際には、このようなことも念頭におきながら指導が必要かと思われれます。

最後になりますが、今後の就職においては各種資格、面接時における対応、プレゼンテーション能力等々のバックアップは学科でサポートしていますが、新聞を読むなど学生自身が日常的に行えることは、自覚を持って積極的に取り組んで貰いたいと願う次第です。



図・「対人」「勉学」志向と就職の関係



# 充実した学生生活の中で、私達はこんなことを考えています!

## テーマ「今、大切にしているもの」

### 「Leaving fate to you.」



2年生 杉江 葉月  
静岡県出身 静岡サレジオ高等学校

人との出逢いは、自分を成長させてくれるものなのだ。と気付いたのは、つい最近のことです。それが例えば、一期一会であったとしても、自

分の考え方が少しでも変わったり、新しい発見に繋がったのなら、それは素敵に巡り合わせだと思います。

私が進路のことで迷っていたとき、新幹線で偶然隣の席になった女性とお話をする機会がありました。私が「もしかしたら大阪の大学に行くかも知れないんです。」と言うと、「私は神戸に住んでいるのだけれど、とても良い街だから、そしたら遊びにいらっしやいね。」と言ってくれました。それだけの理由ではないけれど、私は今、摂南大学で楽しい日々を送っています。海外では、「nice day!」と急に声をかけられた日、何だか良い1日だった気がしました。見ず知らずの人であっても、かけてくれる言葉には不思議な力があり、自分を勇気付けてくれたり、少し背中を押してくれたりすることがあるのです。

人は、自分の考えだけでは、なかなか前に進むことができないときがあります。そんなとき、背中を押してくれるのは、私が大切にしている「出逢い」なのです。

### 「自分の時間」



4年生 細川 玲二  
大阪府出身 大阪市立都島工業高等学校

私が今、大切にしていることは、「ゲームをする時間」です。

私の所属している研究室は、社会に出てからの規則的な生活に慣れて

おこうという目的から、コアタイムを定めたフレックスタイム制を設けています。さらなる成果を求め、コアタイムの時間帯を過ぎても夜遅くまで研究に時間を費やす日も少なくありません。研究は楽しく、この生活も苦ではありませんが、膨大なデータ整備に追われる日が続く、嫌気がさすこともあります。そのような時に活躍するのが、ゲームです。明日のことなど気にせず、思う存分楽しむことで、気持ちを入れ替え、前向きな気持ちになることができます。

現在はゲームが気持ちを入れ替える手段ですが、ゲームに限らず、自分だけの時間を持つことが私には必要なのだと思います。残り少ない大学生活と社会人となった後の長い日々を楽しむことを第一に、メリハリをつけて前向きに進んでいきます。

### 「絆」



1年生 才野 紅葉  
大阪府出身 大阪府立高槻北高等学校

私が今、大切にしているものは「絆」です。

今までにたくさんの人たちと出会い、「繋がり」をつくりました。それは私にとって大切な「絆」です。今年の夏、絆を感じる機会がありました。私が一人で悩みを抱えていた時に相談に乗ってくれて、問題の解決の為に手助けをしてくれた人たちがいました。その人たちのアドバイスの一つ一つが心に響き、問題が無事に解決できた時は「この人たちとの絆がなかったらどうなっていただろう」と思い、たくさんの人と人の「絆」が私にとって大切だと改めて気付きました。

これからの大学生活でたくさんのお会いや出来事があると思います。その中で自分が不安になったり、誰かが不安を抱くことがあると思います。そんなときに、互いに助け合うような「絆」を築き上げていきたいと思っています。

### 「みんなで得る達成感」



3年生 山下 修平  
大阪府出身 阪南大学高等学校

私が今一番大切にしていることは、達成感を共有することです。私はフォークソングmusic研究部という部活に所属していて、今は副部長を努め

ています。このクラブではデュオやバンド演奏がメインの活動となっています。このクラブではデュオやバンド演奏がメインの活動となっているため、みんなで協力し合い取り組む姿勢が欠かせません。ステージ構成など大変なこともあります。一つのイベントをやり遂げた後にはみんなで達成感を味わうことができます。就職活動の準備をする中で、このような達成感を共有できるような企業に就職したいと考えているようにもなりました。

現在、私のクラブは学園祭の準備をしています。この学園祭が終わると3年生は引退です。みんなで達成感を味わうために、残りの日々を悔いのないように部員全員で力を合わせて頑張りたいと思います。

### 編集後記



熊谷ゼミM1  
中島 善彰

このページは学生である私たちが計画・作成したものです。ここでは先生とOBの方々だけでなく若い世代にも親しい会報誌になるようにと、学生自身の考えや意見を主に掲載しています。今回は学年別に4人の学部生に「今、大切にしているもの」というテーマで執筆してもらいました。取材を通じて、学部生が現状についていきいきと話す姿に魅力を感じ、私自身も刺激されました。このページを読んでいただいた方々にも何かを感じ取っていただければ幸いです。最後にページ作成にあたり、ご協力くださったOBの方々、先生方、そして学部生の皆様へこの場を借りて厚くお礼申し上げます。



# 求められる技術と人材

## 希望

キンキ道路㈱ アベノ事業所長  
西川 朝彦 (高専昭和48年卒)



土木会の皆様におかれましては、ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。私が卒業致

しました48年頃とは、まだ米1ドル、300円程で道交法に於いては、ヘルメット無着用で、バイクを乗り回した時代でした。社会情勢も高度成長期で、企業の受け入れ窓口も広く卒業生一同が、希望に満ち溢れて社会へ飛び出して行ったことが脳裏に焼き付いております。特に土木技師については、憧れと、かつこよさを感じておりました。

現在の社会情勢を誰が予測出来たことでしょうか。私自身が勤務しております会社も、社会の流れに乗ってゆけず、平成18年6月に幕を下ろす結果となりました。心身ともに苦境に立たされた時、手を差し伸べて頂いたのが、本年3月に逝去された平城先生と橋本(前)土木会会長先輩でした。そして多くの友人にも支えられその時期を乗り切ることが出来ました。支えて頂いた方々へのお礼と感謝の気持ちは今も持ち続けております。その様な状況に立たされていく時は土木会総会も含めいろんな場へ何かと、顔を出し辛いものです。しかし土木会に参加させて頂いていた御かげで色んな方との巡りあわせと情報があり、将来どの様な社会情勢に変わろうとも希望を持って歩んで行く二つの力と成っている事は間違いないと思われま

## 柔軟な発想

大鉄工業㈱土木本部技術室課長  
青木 隆典 (東大昭和62年卒)



私は、昭和62年に摂南大学を卒業後、大鉄工業株式会社に入社しました。入社後、建設工事の第一線である工事現場に配属され、高速道路

の新設、線路下ボックススカルパートの新設、阪神大震災で被災した鉄道高架橋の補修・耐震補強などに従事し、これに関する施工計画・施工管理に関する技術習得に努めて参りました。平成8年に新設された本社技術室に転勤となりました。こちらでは、コンクリート構造物の品質向上などの施工指導、鉄道構造物などの設計業務、社員技術力向上のための教育など様々な業務を携えることになりました。現場を離れ本部署で活躍できるようにするため専門知識を習得のするよう自分なりに努力を積み重ね、平成18年に技術士(建設部門)を取得しました。現在では、この資格や習得した知識、経験を活かして工事における品質向上、安全性向上に役立てるよう努めている次第です。

さて、建設業界において工事発注が減少していく大変厳しい時代が到来しております。このような状況の中、これまでに構築したコンクリート構造物などの施設の老朽化が進み補修を含めた維持管理が必要となるものが大幅に増加することが予測されております。施設を安全な状態を維持し、さらに新たな施設を設けていくためには、新技術の採用や設計・施工・維持管理の合理化などにより低コスト化や高性能化を図っていく必要があります。これには、地道な技術開発が必要不可欠ですが、既に概念を取り払い、枠組みを飛び越えた発想の転換を図った柔軟な企画力も期待されるころではないでしょうか。

## コンサル業界の現状

中央復建コンサルタント㈱  
調査系部門保全再生グループ統括リーダー  
新田 耕司 (積大平成2年卒)



(はじめに)  
私は、平成2年の卒業と同時に建設コンサルタンに就職し、早20年が経過した。私が就職した頃は、景気の良い売り手市場で、複数社の内定を得て、最も待遇の良い会社を選択可能な恵まれた俗に言う「バブル世代」であった。しかし、それも今は昔、現在は景気悪化が

ますます進み、先行き不透明感と閉塞感が我々に重くのしかかっている。  
**〈建設コンサルタンを取り巻く現状〉**  
現在、建設コンサルタンとは、20年前とは大きく異なり、技術競争と価格競争が激化している。業務の殆どは、技術力勝負のプロポーザル方式、技術力と価格を総合的に評価する総合評価方式であり、その他は価格勝負の入札方式で発注される。  
**〈求められる技術と人材〉**  
建設コンサルタン業界で生き抜くためには、技術競争と価格競争にいかにか打ち勝つが重要である。技術競争については、従前の定型業務が遂行できるだけでなく、業務遂行のための手順や方法、成果が不確定な非定型業務にも柔軟に対応でき、かつ土木技術以外の機械や電気・電子等の工学技術の他、経済学や経営学等の複眼的視点で物事を捉える技術が求められる。価格競争については、要求されている成果を早く安く提供できる仕組みを構築することが重要であり、これはマネジメント技術と言えらる。

建設コンサルタンの技術者は、技師長、主任技師、技師A、技師B、技師C、技術員に区分されている。この中で、技師長は複数の非定型業務を統括し、極めて高度で複合的なプロジェクトマネージャーを勤める主任技師の経験が5年以上の者、主任技師は定型業務に精通し、複数の業務を担当でき、非定型業務を指導し最重要部分が担当できる大学卒業後18年相当以上の能力を有する者と定義されており、経験年数に代わる資格要件として技師長で技術士(総合技術監理部門)、主任技師で技術士(業務に該当する部門)が挙げられている。経験年数は、どうしようもないが、公的資格や様々な業務の経験は個人の力でコントロール可能である。したがって、業務に本気で取り組み、常に色々な事に興味を持ち、早く主任技師や技師長になれることを目指し、早い時期に必要な公的資格を取得できる人材が求められている。また、コミュニケーション等の人間力も求められている。  
**〈おわりに〉**  
現在の建設コンサルタンを取り巻く状況では発注者は、企業よりむしろ技術者個人を評価してプロポーザル方式や総合評価方式で受注者が決めるように思われる。技術者個人が現在の熾烈な競争社会に打ち勝つ意識を高めることにより、組織として成立する時代が現在であり、今後も続くであろう。

## 人の和を大切に出来る人

NTTインフラネット㈱  
エンジニアリング部 技術主任  
水谷 淳 (積大平成8年卒)



今年の春、14年間勤めた建設コンサルタン会社を退職し、NTTインフラネットに転職し

ました。転職活動を通し過去を振り返る中、技術者として大切な心構えについて、色々考える機会を得ました。それについて、一点挙げさせていただきたいと思っております。  
一般的に技術者に求められる能力というと、専門的な知識に加え、コミュニケーション能力や問題解決能力などが挙げられます。もちろん、技術者である以上それらは必要なものです。

しかし、全ての技術者が完璧に備えているかという点、決してそのようなことはありません。技術者の仕事とは、どれだけ経験を重ねても、自分ひとりの力だけではどうにもならない場面が多々あります。そのようなときは、周囲の人の助けを得ることになります。これは非常に大切なことで、自らの苦手な部分を認識し、人の助けを得てそれを克服し、責任を持って成果をあげること。それが上手く出来る人には、大切な仕事任せられることになり、結果的に大きな成長を遂げることになると思います。そのためには、人の和を大切にすることが必要であり、取るべき行動として、明るい挨拶、そして軽いフットワークを持つことと考えます。技術者と言えども、人間社会で働く以上、人とのかわりを避けて通ることは出来ません。求められる人材とは、「人の和を大切に出来る人」と私は考えます。



公共施設総合サービス業



株式会社 荻田建設工業株式会社

代表取締役 荻田 孝太郎

ISO9001 本社 〒660-0087  
ISO14001 尼崎市平左衛門町18番31号  
TEL (06)6419-2981(代表)  
ホームページ: <http://karitakenetsu.com>  
三田営業所 三田市天神1丁目2-12  
TEL (079)563-0095

KAIKEN-街づくりの総合コンサルタント  
大規模開発(住宅団地・工業団地)/  
土地区画整理事業/建築設計/  
環境アセスメント

株式会社 開発計画研究所

業者登録  
・建設コンサルタント 登録番号・建(19)第4364号  
・一級建築士事務所 登録番号・茨城県第A0994号  
・測量業 登録番号・第5-15601号  
・補償コンサルタント 登録番号・補18第2949号

代表取締役 井上 忍  
(昭和44年3月卒業)  
事務所: 東京・水戸  
TEL 03-5828-6855

株式会社  
日照技術コンサルタント

建設コンサルタント(測量・設計・調査)

得意分野 ・基準点測量(世界座標系による)  
・境界確定測量(民々境界、官民境界等)  
・各種管理用平面図作成

代表取締役 市原 久照 (高専52年卒)  
〒611-0041 京都府宇治市横島町月夜3の2  
TEL: 0774-22-7137 FAX: 0774-22-4966  
E-mail: [nissho@cup.ocn.ne.jp](mailto:nissho@cup.ocn.ne.jp)

cosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmo

地質調査、各種防災点検  
土壌地下水汚染調査、地盤保証  
各種構造物健全度調査 等  
土に関することならなんでも!!

株式会社 コスモテック

代表取締役 田中 昌明 (48年卒)  
本社 〒577-0824 大阪府東大阪市大蓮東1-5-33  
TEL: 06-6729-0290 FAX: 06-6729-1780  
奈良営業所 〒635-0833 奈良県北葛城郡広陵町馬見南1-3-18  
TEL・FAX: 0745-55-4443  
E-mail: [cosmotec@pop06.odn.ne.jp](mailto:cosmotec@pop06.odn.ne.jp)  
URL: <http://www2.odn.ne.jp/cosmotec>

cosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmo



総合建設コンサルタント  
設計・測量・調査・登記・計測

ISO 9001:2008 株式会社 エハラ  
登録番号 MSA-QS-3315

代表取締役 江原 光治  
(高専C47年卒)

本社 大阪府東大阪市永和2丁目13番9号  
〒577-0809 TEL 06(6730)1500(代) FAX 06(6730)1300  
E-mail: [ehara@ehara21.co.jp](mailto:ehara@ehara21.co.jp)  
営業所 大阪・神戸・奈良



明日の快適な環境づくりに貢献する  
総合建設コンサルタント

Active [活動的] Speedy [敏速] Customer [顧客本位] Onward [前進]



株式会社 アスコ

本社 〒550-0006 大阪府西区江之子島1丁目10番1号  
TEL 06-6444-1121 FAX 06-6444-1021  
奈良支社 〒634-0813 奈良県橿原市四条町279-1  
TEL 0744-21-0041 FAX 0744-21-0031  
神戸支社 〒657-0841 神戸市灘区灘南通5-4-15  
TEL 078-871-5611 FAX 078-871-5541  
和歌山支店 〒640-8044 和歌山市板屋町22  
TEL 073-433-7751 FAX 073-433-7702  
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-14-24  
TEL 052-219-6351 FAX 052-201-8071  
東京支店 〒142-0042 東京都品川区豊町5-11-12  
TEL 03-5749-3274 FAX 03-5749-3275

[営業所] 東大阪・奈良・香芝・五條・豊岡・姫路・京都北・京都南・岐阜・各務原・滋賀・京都・三重・名張・紀南・高松・徳島・久留米・静岡・神奈川・福井



株式会社 上村組

KAMIMURA

代表取締役 上村 丈司  
(昭和54年卒業)



本社 〒639-0266  
奈良県香芝市旭ヶ丘一丁目31番地の1  
TEL 0745-76-7575 FAX 0745-77-1288  
支店 〒639-0214  
奈良県北葛城郡上牧町上牧3933  
TEL 0745-76-6623 FAX 0745-77-9313



ベステック株式会社

未来のために今できることを、  
ひとりひとりの技術と信頼のネットワークで社会に貢献します

■宅地造成設計、土地区画整理設計、道路設計、  
公園設計、下水道設計など、土木設計業務全般

大阪市中央区天満橋京町1-24 ストーク児島ビル  
TEL 06-6945-5781 FAX 06-6945-5782

代表取締役 木下 幸佐 (撰大57年卒)



## 環境にやさしい水を創造する 総合コンサルタント

上水道・下水道の調査・計画・設計・施工管理



株式会社 都市建設コンサルタント

代表取締役 津田 勉 (高専43年度卒)

本社 〒551-0003 大阪市大正区千島1丁目14番13号  
TEL (06) 6555-1661 (代) FAX (06) 6555-1441

営業所 神戸・岡山・大分



建設コンサルタント・補償コンサルタント・情報測量・情報管理

大島技術コンサルタント株式会社

本社 岡山県真庭市蒜山1福田829-1  
〒717-0602 ひるぜん TEL 0867-66-3673(代)  
FAX 0867-66-3674

URL: <http://www.ogcfight.co.jp>



事業領域は、地球です。



地球と、ずっと。  
国際航空株式会社  
<http://www.earthon.co.jp>

大阪支店 / 〒542-0081 大阪市中央区南船場 3-4-26 (出光ナガホリビル)  
TEL 06-4963-5931 FAX 06-4963-5930  
関西事業所 / 〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町 1-1-15  
西日本支社 TEL 06-6487-1111 FAX 06-6487-1300

港湾及び空港  
下水道  
建設環境  
河川砂防及び海岸・海洋  
土質及び基礎  
鋼構造及びコンクリート  
造園  
都市・地方計画  
道路  
施工計画

快適な国土をデザインする

ISO 9001 登録番号 JMA04-143

株式会社 修成建設コンサルタント  
代表取締役社長 八尾博彦

本社 / 〒553-0002 大阪市福島区豊洲2丁目5番15号  
TEL 06-6452-1081 (代) FAX 06-6453-0777  
事務所 / 兵庫・姫路・京都・奈良・徳島・岡山  
船岡山・名古屋・岡山

＜卒業生＞  
吉澤重文 (高専土木500年卒)  
徳久仁志 (高専土木554年卒)  
小東忠光 (昭大14年卒)  
藤原基平 (昭大17年卒)  
川野真樹 (昭大建設100年卒)

価値ある環境を未来に

EJ グループ



株式会社 近代設計

21世紀を担う近代設計の高技術  
自然環境と調和した豊かな近未来をめざす  
コンサルティングエンジニア

橋梁・共同溝・道路・新交通・トンネル・下水道  
(調査・計画・設計・研究・及び施工管理)

本社 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-9-16  
Tel. (03) 3255-8961(代) Fax. (03) 3251-3783  
大阪支社 〒541-0048 大阪市中央区瓦町 3-1-4  
(トア紡ビル3F)  
Tel. (06) 6228-3222(代) Fax. (06) 6228-3221

大阪市内より30分圏内の  
緑豊かなお墓地をご案内いたします。

お墓のことならどんな事でもお気軽におたずね下さい。

お墓の相談コーナー ☎0120 (305075)

(株) 太田石材店



本社 大阪市城東区古市1丁目23番20号  
TEL 06-6930-5075

当社推奨霊園

総持寺霊園(茨木市) 服部徳風墓地(豊中市)  
陸国寺墓地(吹田市) 竜の子霊園(奈良県)  
海印寺墓地(長岡京市) 玉手山墓園(柏原市)  
王寺霊園(奈良県) 飯盛メモリアルパーク(四條畷市)  
東本願寺天満別院(北区) 飯盛霊園(四條畷市)  
北摂霊園(豊能郡) その他公営墓地  
真龍寺霊園(茨木市)

## HC 21世紀をグローバルに拓く 株式会社 花村コンサルタント

業者登録

- ・建設コンサルタント業 第8662号
- ・地質調査業 第1760号
- ・測量業 第14744号
- ・土壤汚染指定調査機関 環 2003-2-30

代表取締役 花村 浩司 (高専C昭和47年卒)

本社 〒611-0042 京都府宇治市小倉町南浦 9-8  
TEL (0774) 21-5067 FAX (0774) 21-5068  
大阪事務所 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 新谷町第三 314  
TEL (06) 6764-7438 FAX (06) 6764-7439

## 地球の未来は 人の未来。

鳥のさえずり、木々のざわめき、青い空と輝く海。  
ほら、地球はこんなにも美しい。  
これからも大切にしたいから、  
僕らができること。  
少しづつはじめるから。



Yes! Harmony  
東亜建設工業

〒163-1031 東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー <http://www.toa-const.co.jp/>

「土木会」と「会員(正・準)」との双方向の情報交換ならびに共有に、摂南大学土木会のホームページを活用しましょう

<http://www.geocities.jp/setsudokai/>

摂南大学土木会は都市環境工学科のJABEE受審を全面的に支援しています